MINATERAS
交流情報センターミナテラス（図書館）

☎287-8411 図書館 ☎243-5115
開館：火・木～日曜日 午前10時～午後6時
　　水曜日 午後0時～8時
休館：月曜日（祝日の場合は翌日）、毎月第3金曜日

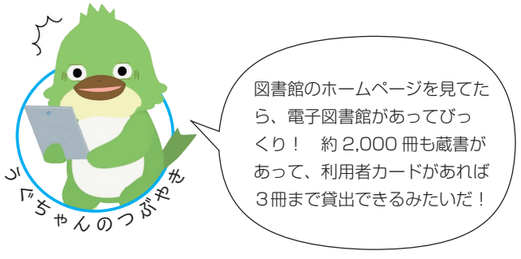
●新着図書案内

この他にも、公式ホームページ(二次元コード)では毎週おすすめの図書を紹介しています。

くまの おやこの きょうは さかなつり

エイミー・ヘスト／文　エリン・E・スタッド／絵　青山南／訳　光村教育図書

「おーい、さかなー！」、「どこにいるんだー？」。おとぼけお父さんぐまと、ちょっぴりおませなこぐまの穏やかな日常。繰り返しのフレーズがユーモラスな絵本。



ニュースが消える日
THE DAY NEWS DISAPPEARS

堂場瞬一／著　講談社

大手全国紙の記者を辞め、地域紙の編集長になった戸倉。地方都市に事件は少なく、刺激の乏しい紙面だ。そんな中、若き市長が襲撃される事件が発生し、戸倉の記者魂に火が付く。

住まいの昭和図鑑
昭和レトロ住宅のゆたかな暮らし

小泉和子／編著　小野吉彦／写真　エクスナレッジ

昭和100年の今こそ知りたい現代に残る昭和レトロ住宅。暮らしが見える美しい写真と共に、人間味溢れるバラエティー豊かな住宅23事例を紹介する。

KATARU
地域共生センター カタル

☎237-8822
開館：午前9時～午後10時
休館：月曜日（祝日の場合は翌日）

10/25（土） ハロウィンゲーム

バッグ作りやお化け釣りゲームを楽しめます。仮装した参加者にはお菓子をプレゼント！

- ◆時間　午後1時～3時
- ◆参加無料　※申し込み不要
- ◆対象　1歳～小学生

11/6（木） 楽しく学ぶスマホ教室

初心者でも大丈夫！　基本操作や地図アプリ、カメラ、LINEの活用法を教えます。

- ◆時間　午前10時～正午
- ◆参加無料
- ◆講師　ソフトバンク株式会社
- ◆定員　20人(先着)　※開館時間内に電話で申し込み

10/30（木） 11/6（木） 秋の健康ウォーキング

カタル周辺をゆったりウォーキングで散策。

- ◆時間
  午前9時30分～
  10時30分
- ◆参加無料
- ◆定員　15人(先着)
  ※開館時間内に
  電話で申し込み

CULTURE SCHOOL ワンコイン体験参加者募集

- ◆期日　10月7日(火)、15日(水)、16日(木)、17日(金)
- ◆参加費　500円
- ◆定員　各20人(先着)　※開館時間内に電話で申し込み

※対象となる講座など、詳しくはカタルに問い合わせ

HALL
町文化会館

☎286-1511
開館：午前9時～午後10時
休館：月曜日（祝日の場合は翌日）

12/14（日） 米良美一の読み聞かせコンサート

米良美一さんが作り上げる、あえて絵本を使わない独創的な読み聞かせコンサート。ステージに響き渡る歌唱力で、物語の世界に引き込みます。

Profile　米良美一

声楽家。スタジオジブリ作品「もののけ姫」の主題歌に抜擢後、その類いまれなる歌唱力で世界を魅力する。

- ◆開演
  午後2時
- ◆入場料(全席自由)

一般	3,000円
ブルーム会員	2,500円
中・高校生	1,000円
小学生以下	500円

※当日500円UP

NIJI-IRO
復興まちづくりセンターにじいろ

☎284-1711
開館：午前9時～午後10時
休館：月曜日（祝日の場合は翌日）

10/7（火） にじいろ観月会2025

毎月満月の夜に開催する「お月見ナイト」。年に一度、中秋の名月の夜に「観月会」としてパワーアップします。みんなで秋の夜を楽しみましょう。

- ◆開催時間
  午後4時～8時
- ◆参加無料

※小学生以下は大人と一緒にご参加ください

你好台湾 ニーハオ！タイワン

文化　流行　習慣　名所

益城町の友好交流都市である「台湾台中市大甲区」を中心に、台湾の暮らしや文化、習慣など、台湾の今をお届けします。

日本・台湾いずれの調査も近年はインターネットでの回答が主流。国勢調査もスマホを使った回答がおすすめです！

社会を読み解く統計調査

日本では「国勢調査2025」の真っただ中。全世帯が対象のため、あなたのお家にも調査員の訪問があったのではないでしょうか？

実は台湾でも同様の調査があり、「人口及住宅普査」と呼ばれます。日本の5年ごとに対し、台湾は10年に一度の実施です。この調査は、まさに台湾社会の今を読み解くもの。年齢、性別、職業、婚姻、住宅といった基本情報から、教育レベルや健康状態まで、あらゆる人口動態データが収集されます。

直近の2020年調査では、台湾が直面する課題が鮮明になりました。人口増加率の鈍化、加速する少子高齢化、単身世帯の急増。都市部への人口集中と地域間の格差が広がる実態も浮き彫りに。

こうした調査は、国の現状を正確に把握し、未来の政策を立案するための羅針盤となります。日本の「国勢調査2025」の回答期限は10月8日まで。私たちの協力が、日本の未来を形作ります。